

Mラボ課題解決ラボ 2023 生活協同組合コープこうべ 課題リスト

Q1 該当する項目の右側にO印を入れて下さい

マッチングゼミに社会課題に関するどのような研究を望んでいますか?		
1	【課題設定】社会課題の解決につなげるための自社事業について	
	(どのような経営活動を社会課題の解決に結びつけるかの研究)	
2	【課題研究】社会課題の解決にすでに取り組んでいる自社事業について	0
	(具体的に取り組みが進む経営活動の課題についての研究)	

Q2 該当する項目の右側に〇印を入れ、自由記述欄に具体的な研究課題をご記入下さい

マッチングゼミにどのような方向性の研究を望んでいますか?			
市場調査			
製品・サービス企画			
プロモーション・広告立案	0 (1)		
	3)		
価格策定			
ブランディング	O(1)		
流通、小売戦略、MD			
国際化、海外戦略			
営業活動、営業支援			
従業員の採用・教育・育成、働き方改革			
従業員の満足度、モチベーション、創造性、健康増進			
観光、地域マーケティング、地域資源の活用	O(5)		
地域社会、産業集積、街づくり	0 (2)		
	45)		
インターネットやデジタル技術の活用	O(1)		
知財戦略			

※上記に該当する項目が無い場合や、研究を希望する具体的な課題などがありましたら ご自由にお書きください。

① 「ええやんコープ!」SNS でコープこうべの魅力を発信

SNS を活用してコープこうべの「ええとこ」を伝えようと、様々な部署が工夫して発信しています。しかし、いまひとつどのアカウントも伸び悩む現状。長い間、組合員や地域の方から言われている「コープさんはええことをしているのに、伝わってこない」という言葉とは、そろそろサヨナラしたい!特に 20~30 代の組合員とのつながりを強化するために、SNS を使ってどんなことができるでしょうか?実践検証にご一緒に取り組みませんか!

② 可能性は無限大∞主役はあなた!「コープのつどい場」

コープこうべには、店舗や宅配のセンターなどの事業所の内外に 20 ヵ所の「つどい場」があります。組合員や地域の方など誰もがふらっと立ち寄れ、コミュニケーションが生まれる「地域の居場所」をめざしています。多世代が利用し、つながり、世代間交流が生まれるなど、素敵な事例がたくさん生まれている一方で、利用者が固定化されていたり、若年層の利用が少ないところもあります。学生ならではの発想で、認知度を高めるとともに、「もっとこんな風に活用できるのでは」、「こんなつどい場なら私たちも立ち寄りたい」など、斬新なアイデア提案で、「つどい場」に新しい風を吹かせてみませんか!

③ SDGsの達成へ!今日からできること、コープと共に。

コープこうべでは、これまで組合員さんや地域のみなさんと共に、SDGsの達成につながる様々な取り組みを進めてきました。しかし、まだまだ充分に浸透していないと感じています。例えば、食品ロス削減施策「てまえどり」運動、環境共生型農園「エコファーム」、コンセントの向こう側を共に考える「コープでんき」、神戸市、メーカー、リサイクラーとともに取り組む「つめかえパックリサイクル」など…。このような動きをより身近なものとして、一人でも多くの方に参加いただくには、どんな仕掛けが必要でしょうか?また、新たな取り組みとしては、どんなことができるでしょうか?

④一人の 100 歩より 100 人の一歩!

大学生から始まる「くらしの見直し」ムーブメント

長く続く物価高で、日々の消費者のくらしは苦しい状況が続いています。大学生のみなさんも、ご実家暮らし、お一人暮らしなど一人ひとり状況は違っても、実感されていることと思います。コープこうべの歴史を振り返ると、様々な時代の困難を、組合員が知恵と思い、力を寄せ合って乗り越えてきました。こんな時だからこそ、知恵を出し合い、くらしを見直して乗り切っていきたい!コープこうべとの関わりの中で、どのような「くらしの見直し」ができるか、自分たちのくらしから、地域のみなさんのくらしへとムーブメントを起こせるか、コープこうべといっしょに考えてみませんか?

⑤まだ誰も知らない、新しい買い物支援「+αのカタチ」

運転免許証の返納、自転車に乗るのも難しい、住宅地であってもスーパーが撤退するなど、日常の買い物に困難を抱える方が多くいらっしゃいます。コープこうべはこれまでも様々な生活を支えるサービスを提案しながら、組合員のくらしに寄り添ってきました。現在、週一宅配や店舗、買い物送迎車、移動店舗、夕食宅配など、多様な生活を支えるサービスを提供していますが、すべてのエリアですべてのサービスを展開できているわけではありません。物販などの既存のサービスと新しいサービスとの組み合わせなど、組合員のくらしを支える、持続可能な「+αのカタチ」をつくりだせないか、これからのカタチをいっしょに考えてみませんか?